

う種目ならいいのですが、マイナーな競技などは大変だということは想像できます。日本では、実業団や大学の職員としての立場の方も多いですが、そこにも当てはまらない方もいます。

オリンピックでは日本人がでてくる競技のほとんどが注目されます。こんな機会に、選手たちの育成や今後について考えるのもよいかと思います。

環境による評価

先月、無事に自宅の引っ越しを終えました。まあ、汗ダクダクでしたけれど、何とか「移動」した、というのが事実です。

さて、これまで本当に小さな部屋

に住んでいたもので、いろいろ家具がそろっておらず、今回ようやく購入というものも多くありました。中でもソファはお気に入りものが欲しく、珍しく選ぶのに気合を入れました。家具専門店に行き、広い店内で店員さんの解説を聞きながら座り心地、デザインなど自分にあつたものを購入。とてもシンプルですが、重厚感もあり、配達される日を楽しみにしていました。



配達された当日、リビングに搬入してみると思った以上の存在感。形やサイズなどは分かっていたのですが、広い店内で見たのとは大分雰囲気は

異なりました。

実は、お口の中で使用する金属やさし歯、模型上で作るのでお口の中に入れると大分雰囲気が違う時があります。特に色の問題。さし歯などは石こう模型の上で作るので歯や歯ぐきの色とは全く異なります。僕の手元に完成品が来た時でさえ、「こんな色で大丈夫？」と思うほどです。一応、歯の色見本のようなものがあり、僕たちが指定するのですが、実際に作る歯科技工士さんはイメージするものが結構大変です。

残念ながら口の中に入れてイメージがあわず再製になるものもあります。だからこそ、自分の歯と見分けがつかないくらいのドンピシャなものができるためちやくちやうれいんです。もちろん作るのは技工士さんなんですけどね。